



杉並区立 杉森中学校
学校だより 第356号
平成27年6月30日
平成27年度 第3号

「 違いを認め、思いやりの心を 」

校長 山内 清一

5月30日（土）、晴天の下で第58回体育祭が行われました。日差しの強い一日で熱中症が心配されましたが、無事終わることができました。

開会式では「一致団結して競技や係活動に取り組み、自分たちの手で体育祭を作り上げてほしい」と伝えました。競技に取り組む真剣さ、自席にきちんと座っての応援、進行をスムーズに進めるための係活動への取り組みなど、生徒達の生き生きしている姿を見ることができました。特に3年生は、下級生の良き見本となる素晴らしい結果を残してくれました。今年度最初の行事での生徒達の様子で、その後の一年間の学校の状態が決まると言われます。その意味でも大成功であったと思います。ご声援・ご協力いただいた保護者・地域の皆様、ありがとうございました。

さて、5・6月は「いのちの教育」月間です。本校では、「生命尊重の心情を育て、いじめのない学校、思いやりの心を育むこと」を目指し、道徳の授業を各学級で行いました。校長としても、全校朝礼で「いのちの大切さや差別のない学校」について話をしました。前任校が高井戸中学校であったこともあり、「アンネのバラやアンネの日記」のことにふれました。「高井戸中学校の40年間のアンネのバラを育ててきた取り組みや生徒の願い、ユダヤ人というだけで差別され、苦しみ

られ自由な生活ができなかったアンネ・フランクのこと」などを話し、最後に「いのちのこと、平和と差別のない世界のこと」について、全校生徒に考えてもらいました。

私達が生活している学校や社会でも、自分一人だけがよければいいという考えではうまく生活していくことはできません。互いに協力し合い、助け合いながらよりよい生き方を目指すことが必要です。ですから、自分勝手な行動をせず、相手のことを考えて我慢しなければならない場面もたくさんあります。今回の体育祭でも言えることですが、一人一人の顔や体格が違うように、運動能力にも一人一人のモチ味があります。100m走が強い人、1000mや1500m走が強い人、綱引きが得意な人などそれぞれです。ソーラン節の演技では、踊りのうまい人はうまく踊れない人を助けたり、どうすればうまくいくのかを考えないと成功しません。つまり、一人一人の違いを認め、思いやりの気持ちをもつことが大切です。

日頃の、学校での生活や、授業中・部活動でも同じです。仲間はみんな一人一人違う個性をもっています。その違いを認めて、思いやりの心を忘れなければ、いじめなどは起きません。これからも一人一人の違いを認め、思いやりの心をもって、みんなが大切にされる素敵な杉森中学校にしていきたいと思います。

～6月のアルバム～



【セーフティ教室】 6/5(金)

e-ネットキャラバンの細野清文さんを講師として、インターネット被害からどうやって自分の身を守ったらよいかを学習しました。



【読み聞かせ】 6/9(火)

学校支援本部の協力により、朝の読書タイムを活用し、読み聞かせを毎年、行っています。1年生は「蜘蛛の糸」の読み聞かせを行いました。



【書評発表会】

全学年、毎週金曜日に本のおもしろさを紹介する書評発表会を行っています。本のあらすじや魅力を伝える活動です。



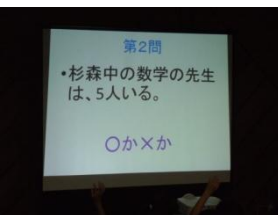
【伝統芸能鑑賞教室】 6/13(土)

杉森中では、3年間のサイクルで、能・歌舞伎・落語の伝統芸能鑑賞教室を実施しています。今年度は落語で、「体験コーナー」もありました。



【道徳研究授業】 6/17(水)

東京駅の駅舎を設計し、完成させた辰野金吾の生き方から「先人の生き方を学ぶ」ことを学習しました。担任の合田教諭が3年C組で授業を行いました。



【小学6年生授業見学】6/26(金)

杉一小・馬橋小の6年生の児童が本校の授業を見学し、生徒会役員が学校説明や〇×クイズを行いました。児童からの質問に対して、生徒会役員がきちんと答えてくれました。

【7月の予定】

- 1 (水) 小中合同研修会
- 2 (木) 都学力調査(2年)
- 3 (金) 保護者会
- 6 (月) 職場体験(2年) 始
- 10 (金) 職場体験(2年) 終

- 11 (土) 土曜授業 午前中
- 14 (火) 各種委員会
- 15 (水) 全校美化
- 18 (土) 終業式
- 21 (火) 三者面談始

- 24 (金) 三者面談終
- 27 (月) 夏季パワーアップ教室始
- 29 (水) ESS 始
- 31 (金) ESS 終
- 夏季パワーアップ教室終